

2023年3月9日

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

【お知らせ】「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2023」 最優秀ファンド賞 受賞

この度、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社は「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2023」におきまして、下記の通り最優秀ファンド賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。
今後も、投資家の皆様の資産運用ニーズやリスク許容度に応える多彩なラインナップをご提供するとともに、わかりやすい情報発信に注力し、中長期的な資産形成の一助となることを目指します。

記

■受賞内容詳細(部門:投資信託)

評価期間	分類名	ファンド名
3年	債券型 ユーロ ハイイールド	DWS ユーロ・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) Bコース(円ヘッジなし)
5年	債券型 ユーロ ハイイールド	DWS ユーロ・ハイ・イールド債券ファンド(毎月分配型) Bコース(円ヘッジなし)
3年	株式型 グローバル	日興・DWS・ニュー・リソース・ファンド
5年	株式型 インド	ドイチェ・インド株式ファンド
10年	株式型 エマージング マーケット グローバル	DWS 世界新興国株式ファンド
5年	ミックスアセット 日本円 バランス型	ドイチェ・ETF バランス・ファンド

※ファンドごとのリスク・費用はファンド名をクリックしてご確認ください。

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間 3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.com をご覧ください。Refinitiv Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

以上

ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用…購入時手数料 上限 3.85%(税抜 3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用…信託財産留保額 上限 0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用…運用管理費用(信託報酬) 上限 2.068%(税抜 1.88%)
- その他費用…上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 359 号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会